

平成 30 年度

施設評価調書

施設の名称……下田認定こども園

所管担当課……学校教育課

平成 30 年 7 月

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田認定こども園	番号	98
----------	----------	----------	----	----

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設 置 目 的	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき、児童福祉法による保育と学校教育法による教育を一体的に提供すること施設である。 ・日々保護者の委託を受けて、保育に欠ける（就労や病気などの理由により）乳児又は幼児を保育すること。《児童福祉法第39条》 ・幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成するよう、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を培うこと。					
運 営 事 業 名	H28 年値	H29 年目標値	H29 年実績値	対前年比	目標達成率	評価
認定こども園管理運営事業	193	211	201	104.1%	95.3%	A
設置目的に対する総合評価						
目 的 達 成 度 の 評 価 基 準	目標値：定員 実績値：入所者数 評価 A＝目標達成率 90%以上、B＝同 70%以上、C＝同 50%以上、D＝同 30%以上 E＝同 30%未満					

2 現状分析(Check)

運 営 事 業 の 意 義 と 現 状	幼稚園・保育所再編整備基本計画の拠点施設として整備され、市内各地からの受け皿として運営を開始した。運営開始初年度であり、また“認定こども園制度”が本市として初めて取り組む事業であるため、運営内容は試行錯誤を繰り返しているのが現状である。初年度の運営や事業、行事等が一巡し、平成 27 年度以降は、子ども・子育て支援新制度に沿い、利用者のニーズに対応した運営を図っている。
上 記 の 原 因	

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	初年度の運営の反省点をもとに、行事、保護者組織、通園バス等、様々な点で、改善を図っていく。また、子ども・子育て支援新制度施行により、多様化する保育ニーズに対応できる体制を整えていく必要がある。		
H30 年度運営 事業と目標値	運 営 事 業 名	H30 年度目標値	備 考
	認定こども園管理運営事業	211	

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価

運 営 事 業 名	H27 年度	H28 年度	H30 年度	H 年度
総合評価	A	A	A	
認定こども園管理運営事業	A	A	A	

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田認定こども園	番号	98
----------	----------	----------	----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H28 年度値	H29 年目標値	H29 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	193 人	211 人	201 人	104.1%	95.3%
	B 年間経費 (除く収入)	175,102,732 円	180,195,000 円	177,197,234 円	101.1%	98.3%
	B / A	907,268 円	854,005 円	881,578 円	97.2%	103.3%
②光熱水費（千円）		2,762,113 円	3,278,000 円	3,102,356 円	112.3%	94.6%
③消耗品費（千円）		1,572,292 円	1,500,000 円	1,499,950 円	95.4%	99.9%
効率性指標の考え方等						

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	施設利用者、年間経費ともに微増している。
----------------	----------------------

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	前年度に比べれば利用者は増加している。少子化と共働き世帯の増加により、大幅な改善は難しいと考えられるが、それ以外に減少の原因をつくらないことが重要である。		
H29 年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B / A	854,005	
	②光熱水費（円）	3,278,000	
	③消耗品費（円）	1,500,000	

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
①利用単位当たり 経費	目標値	211 人	211 人	211 人	211 人
	A 実績値	190 人	197 人	193 人	201 人
	B 実績値	182,895,778 円	181,317,938 円	175,102,732 円	177,197,234 円
	B/A	962,609 円	920,396 円	907,268 円	881,578 円
	対前年比	—	△42,213 円	△13,128 円	△25,690 円
	目標達成率	105.9%	98.9%	95.6%	103.2%
②光熱水費	目標値	4,215,000 円	3,912,000 円	3,408,000 円	3,278,000 円
	実績値	3,345,764 円	3,202,847 円	2,762,113 円	3,102,356 円
	対前年比	—	△142,917 円	△440,734 円	340,243 円
	目標達成率	126.0%	122.1%	123.4%	94.6%
③消耗品費	目標値	1,769,000 円	1,769,000 円	1,600,000 円	1,500,000 円
	実績値	1,766,589 円	1,765,179 円	1,572,292 円	1,499,950 円
	対前年比	—	△1,410 円	△192,887 円	△72,342 円
	目標達成率	100.1%	100.2%	112.3%	99.9%

平成 30 年度

施設名（愛称名）	下田認定こども園
----------	----------

番号	98
----	----

4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単位	H27 年度	H28 年度	H29 年度
	①有料部分の 年間経費	使用料等を徴収する部 分の年間経費	円	181,317,938	175,102,732	177,197,234
	②受益者負担 額	施設の本来の目的によ る使用料等の年間総額	円	34,164,102	31,410,045	22,415,690
	③受益者負担 比率	②÷①	%	18.8%	17.9%	12.7%
	④補正受益者 負担額	減免者より正規の料金 を徴収したと仮定した 場合の受益者負担額	円	34,164,102	31,410,045	22,415,690

運営に掛 かる税負 担 (市民負担)	年度		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(予算)
	人口（4月1日：人）		23,444	22,938	22,477	22,092
	人口 1 人あ たり（円/ 人）	運営経費（収入除 く）	7,734.1	7,633.7	7,883.5	8,332.5
		年間総経費	7,032.9	7,037.1	6,886.2	7,216.6

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田認定こども園	番号	98
----------	----------	----------	----	----

利用者満足度調査

実施の有 無	☒ 有 ☐ 無		調査の方法	アンケート	H29 年度調査 数	193 件																														
○貸館利用者向け 1 調査結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設問</th> <th>回答種類</th> <th>H27 年度 回答数</th> <th>H28 年度 回答数</th> <th>H29 年度 回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>園は教育目標、重点 目標の達成に向けて 努力していますか</td> <td>A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)</td> <td>A 135 B 66 C 2 D 0</td> <td>A 147 B 42 C 3 D 0</td> <td>A 156 B 35 C 2 D 1</td> </tr> <tr> <td>お子さまは、登園を 楽しみにし、楽しい 園生活を送っていま すか</td> <td>A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)</td> <td>A 139 B 54 C 5 D 0</td> <td>A 148 B 43 C 1 D 1</td> <td>A 158 B 40 C 1 D 0</td> </tr> <tr> <td>園は遊びを充実させ たり環境を整えたり するための指導の工 夫改善を行っていますか</td> <td>A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)</td> <td>A 148 B 42 C 5 D 0</td> <td>A 140 B 44 C 8 D 1</td> <td>A 167 B 30 C 1 D 0</td> </tr> <tr> <td>園は家庭への連絡、 たよりの発信等を通 して、家庭との連携 を円滑に図っていま すか</td> <td>A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)</td> <td>A 123 B 70 C 5 D 0</td> <td>A 140 B 44 C 8 D 1</td> <td>A 153 B 40 C 6 D 0</td> </tr> <tr> <td>お子さんは行事を楽 しみ、また行事によ って子どもの生活が 豊かなものになって いますか</td> <td>A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)</td> <td>—</td> <td>A 172 B 17 C 3 D 0</td> <td>A 174 B 24 C 1 D 0</td> </tr> </tbody> </table> ※今年度寄せられたクレーム等							設問	回答種類	H27 年度 回答数	H28 年度 回答数	H29 年度 回答数	園は教育目標、重点 目標の達成に向けて 努力していますか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 135 B 66 C 2 D 0	A 147 B 42 C 3 D 0	A 156 B 35 C 2 D 1	お子さまは、登園を 楽しみにし、楽しい 園生活を送っていま すか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 139 B 54 C 5 D 0	A 148 B 43 C 1 D 1	A 158 B 40 C 1 D 0	園は遊びを充実させ たり環境を整えたり するための指導の工 夫改善を行っていますか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 148 B 42 C 5 D 0	A 140 B 44 C 8 D 1	A 167 B 30 C 1 D 0	園は家庭への連絡、 たよりの発信等を通 して、家庭との連携 を円滑に図っていま すか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 123 B 70 C 5 D 0	A 140 B 44 C 8 D 1	A 153 B 40 C 6 D 0	お子さんは行事を楽 しみ、また行事によ って子どもの生活が 豊かなものになって いますか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	—	A 172 B 17 C 3 D 0	A 174 B 24 C 1 D 0
設問	回答種類	H27 年度 回答数	H28 年度 回答数	H29 年度 回答数																																
園は教育目標、重点 目標の達成に向けて 努力していますか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 135 B 66 C 2 D 0	A 147 B 42 C 3 D 0	A 156 B 35 C 2 D 1																																
お子さまは、登園を 楽しみにし、楽しい 園生活を送っていま すか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 139 B 54 C 5 D 0	A 148 B 43 C 1 D 1	A 158 B 40 C 1 D 0																																
園は遊びを充実させ たり環境を整えたり するための指導の工 夫改善を行っていますか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 148 B 42 C 5 D 0	A 140 B 44 C 8 D 1	A 167 B 30 C 1 D 0																																
園は家庭への連絡、 たよりの発信等を通 して、家庭との連携 を円滑に図っていま すか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	A 123 B 70 C 5 D 0	A 140 B 44 C 8 D 1	A 153 B 40 C 6 D 0																																
お子さんは行事を楽 しみ、また行事によ って子どもの生活が 豊かなものになって いますか	A(している) B(や やしている) C(あ まりしていない) D (していない)	—	A 172 B 17 C 3 D 0	A 174 B 24 C 1 D 0																																
2 調査結果から読み取れること <table border="1"> <tr> <td>・全体的にAまたはBと答えている割合が高い水準を示している。</td> </tr> </table>							・全体的にAまたはBと答えている割合が高い水準を示している。																													
・全体的にAまたはBと答えている割合が高い水準を示している。																																				
3 次年度以降への改善点 <table border="1"> <tr> <td>・子ども、保護者、保育者に無理や負担がかかりすぎないように、こども園として取り入れられることや改善していく点を検討しながら園運営や保育実践を進めていく。</td> </tr> </table>							・子ども、保護者、保育者に無理や負担がかかりすぎないように、こども園として取り入れられることや改善していく点を検討しながら園運営や保育実践を進めていく。																													
・子ども、保護者、保育者に無理や負担がかかりすぎないように、こども園として取り入れられることや改善していく点を検討しながら園運営や保育実践を進めていく。																																				

施設修繕計画及び備品購入計画

破損 年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考（修繕済年度等）
29	3歳児トイレ		29	
29	給食室スチームコンベクション		29	
29	包丁まな板殺菌庫		29	
29	畳		29	
29	フードスライサー		29	
29	車バッテリー		29	
29			29	
※今後想定される維持管理事項				

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田認定こども園	番号	98
----------	----------	----------	----	----

管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性	「下田市幼稚園・保育所再編整備基本計画」の推進により統廃合される施設の受け皿となる拠点施設として整備されたものであるため、当면下田市の就学前教育、福祉の中心となる施設であるため、当면現行体制を維持する必要がある。
民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	認定こども園の民営化については、市町村、社会福祉法人の他、NPO法人や学校福祉法人等の参入が可能である。このため、適正な運営能力を備えた民間事業者の参入は可能であると捉えているが、公立施設の大幅な統廃合を実施した直後のタイミングで、近々の地域・民間への譲渡は考えにくい。 公共性の高いサービスであり、また、再編整備後の安定したサービスを提供するため、適正な運営・責任能力を持つ民間事業者が出るまでは、実施主体として行政が関与することは妥当である。
施設の管理運営と経費の妥当性	市内唯一の幼保連携型認定こども園として子育て支援の中核施設となるため、通園バスによる送迎実施など、広域利用への対応が必要となっている。また、子ども・子育て支援新制度施行と、多様化する保育ニーズに対応するため、人件費等の運営経費の増加は妥当と思われる。
施設の性質や実費経費からみた 受益者負担の妥当性	保育料は、平成 27 年 4 月から施行された子ども子育て支援新制度施行において改正が行われた。年齢により 3 つの認定区分に分かれており、所得や世帯の状況その他の事情を勘案し、国の定める水準を限度として「下田市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例」により従前の料金を維持する形で利用者負担額を定めている。また、平成 29 年度に保育料の改定を行い、標準時間利用者と短時間利用者の料金を細分化した。
その他の管理運営上の課題	平成 26 年度に運営開始され、他の施設に比べて経過年数が浅いため、施設を軌道に乗せることに重点をおいて運営を行っている。このため、維持管理方法、経費、人員配置、シフト等について、今後詳細な検証と検討が必要となる。
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	

平成 年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田認定こども園	番号	98
----------	----------	----------	----	----

施 設 の 概 要

1 施設名 (愛称名)	下田市立下田認定こども園			2 担当課 担当係	学校教育課 こども育成係		
3 所在地	下田市 敷根 765 番地の 19			4 設置年月	平成 2 6 年 4 月 1 日		
5 総合計画の 位置付け	Ⅱ 人が輝くまちづくり Ⅳ 安心なまちづくり		未来のひとづくり 人にやさしいまちづくり		就学前教育 子育て支援		
	基本目標		「生きる力」の基礎を育む就学前教育を目指します。 子どもがいきいき輝き・健やかに育つ子育て支援社会を目指します。				
	基本目標を実現 するための施策		施設の再編整備の推進、就学前教育の充実、幼稚園での子育て支援 機能の充実		保育所・幼稚園の再編整備、多様な 保育プログラムの提供		
6 設置目的	児童福祉法による保育と学校教育法による教育を一体的に提供すること施設である。 ・日々保護者の委託を受けて、保育に欠ける（就労や病気などの理由により）乳児又は幼児を保育することを目的とする施設。《児童福祉法第 3 9 条》 ・幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成するよう、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を培うことを目的とする施設。						
7 設置根拠	下田市認定こども園設置条例						
8 施設の概要	施設の概要		敷地面積 3,780.00 m ² 建築面積 1,074,21 m ²				
			下田認定こども園 保育園部（定員 121 人）・幼稚園部（定員 90 人）				
	実 施 事 業 の 概 要		・児童福祉法による保育 ・学校教育法による教育				
	料 金 体 系		料金 区分	下田市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例による 認定こども園利用者負担金			
			主 な 料 金	下田市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例による ＜保育園部＞ 第 1 階層から第 1 6 階層別に徴収基準額設定 ＜幼稚園部＞ 保育料 第 1 階層から第 6 階層別に徴収基準額設定 給食費 月額 3,800 円（8 月分を除く）〈H26 料金設定〉			
			減 免 内 容	（保育料の減免） 第 3 条 市長は、災害その他の理由により特に必要があると認めたときは、 利用者負担額を減額し、又は免除することができる。			
			利用料金制度 ☐ 有 ☐ 無				
	施 設 運 営 方 法		☒ 直接運営				
			☐ 指定管理者制度 →		指定管理者		
			☐ 一部委託 →		委託内容		
直接従事職員		下田市職員数	保育士・教諭		調理員		合計
			正職員	臨時	正職員	臨時	
		平成 30 年 4 月 1 日現在	13 人	17 人	2 人	4 人	36 人
9 市 内 の 類似施設	下田市所有	下田保育所、下田幼稚園					
	民間所有	稲生沢保育園、ひかり保育園					

平成 30 年度	施設名（愛称名）	下田認定こども園	番号	98
----------	----------	----------	----	----

10 取得費等の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳（千円）			平成 29 年度末残高（千円）		(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格 1 円 ・新設翌年度から償却 ・耐用年数 34 年	
	土地取得費		2,000	土地残高			—
	建物取得費		482,373	建物減価償却後残高			425,625
	財源内訳			減価償却費算定 482,373÷34 年			
		国庫支出金	24,811	年間償却費 → 14,187／年間			
		市債	416,800	市債残高			416,800
		一般財源	40,762				
		計	482,373				

11 年間経費等推移 (単位：円)	区 分		H27 年度決算	H28 年度決算	H29 年度決算	H30 年度予算
	収入	保育料	—	—	—	—
		幼稚園授業料	—	—	—	—
		こども園利用者負担金	26,689,720	24,894,760	22,415,690	23,223,000
		通園バス納付金	1,655,625	1,211,250	1,302,750	1,428,000
		幼稚園等給食費	5,800,557	5,294,835	5,793,898	5,315,400
		預かり保育納付金	18,200	19,200	30,400	30,000
	収 入 合 計		34,164,102	31,410,045	29,542,738	29,996,400
	支出	1 節 報酬	390,100	387,000	389,000	391,000
		2 節 給料	65,290,600	61,238,700	61,321,500	59,944,000
		3 節 職員手当等	27,579,410	25,910,209	26,803,177	27,989,000
		4 節 共済費	17,943,131	15,976,048	16,516,928	17,075,000
		7 節 賃金	39,949,047	42,681,009	41,758,572	46,964,000
		8 節 報償費	30,080	26,480	30,080	46,000
		9 節 旅費	36,220	19,600	41,000	38,000
		11 節 需用費	19,290,060	18,107,678	19,313,840	19,622,000
		12 節 役務費	999,344	943,294	1,044,771	1,036,000
		13 節 委託料	7,581,293	7,567,663	7,555,070	8,505,000
		14 節 使用料及び賃借料	2,242,053	2,245,061	2,189,951	2,165,000
		15 節 工事請負費	0	0	0	0
		18 節 備品購入費	0	0	166,860	245,000
		19 節 負担金補助及び交付金	0	0	59,885	60,000
		22 節 補償補填及び賠償金	0	0	0	1,000
		29 節 公課費	6,600	0	6,600	0
	支出合計		181,317,938	175,102,732	177,197,234	184,081,000
	減価償却費		14,187,000	14,187,000	14,187,000	14,187,000
	市債利子		3,540,192	3,536,358	3,487,038	3,288,499
	職員人件費					
	下田市負担年間総経費		164,881,029	161,416,045	165,328,534	171,560,099
	備考					

12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H27 年度決算	H28 年度決算	H29 年度決算	H30 年度予算
		利用者数	197 人	193 人	201	211
		参考:利用単位当たり市負担額	836,960 円／人	836,353 円／人	822,530／人	813,081／人
		算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数				
	休館日	日曜日 祝日 12 月 29 日から 1 月 3 日まで				
	時 間	午前 7 時 30 分～午後 6 時 30 分				

平成 30 年度

施設名（愛称名）	下田認定こども園
----------	----------

番号	98
----	----

(参考資料)